

I 各史料群の概要

史料群番号 1

史料群名	かいようまる 海洋丸関係文書	旧所蔵者	不明
探訪時住所	北海道松前郡福山町		
現在の住所	北海道松前郡松前町		
探訪年月	不明		
史料の年代	昭和11（1936）年～昭和24（1949）年	史料の総点数	6点
年代の内訳	近代 6点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「昭和五十一年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録（北海道・岩手編）－ 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

探訪に関する資料はなく、詳細は不明である。「漁業制度資料調査保存事業」の過程で昭和25年から27年にかけて北海道の調査が散発的に行われている。昭和25年には、北海道増毛郡増毛町や余市郡余市町の史料探訪が行われ、以後留萌郡・苫前郡の調査の記録が見える。しかし、松前郡に関する史料採集の記録はなく、収蔵にいたる経緯は明らかではない。

史料群の概要

「海洋丸」と記された柔魚漁（いか）漁に関する帳面が4点を占め、残り2点はその中にはさみ込まれていた「金銭覚」である。海洋丸は北海道松前郡福山町に船籍を持つ11トンほどの発動機船で、進水は昭和11年8月とある。発動機船は大正14～15年頃に普及しはじめ、それに合わせて船入潤の建設が進められ、福山町はいち早く昭和9年に完成を見ている（概説 松前の歴史）。4点の縦帳には昭和11年から24年までの、数年を除いて年ごとのイカ漁獲高・乗組員氏名などが記載されている。昭和14年「部柔魚収入控」には、海洋丸に乗船した24人の乗組員の氏名が書かれ、各人の漁獲高が記されている。

